



HEADLINE

- (1) 2月のマネートピックス
- (2) 今月の金利情報
- (3) コラム～★FPのひとりごと★～  
税制がどのように変わるのか確認しましょう
- (4) FPコバさんより  
FPA 2009 アナハイム大会

●マネートピックス

- ◇英イングランド銀行、5カ月連続利下げ (2月5日)  
政策金利は過去最低の年1.0%。
- ◇導入から7年、確定拠出年金加入者が300万人突破 (2月6日)  
08年10月末速報値で前年同月比17%増の306万6,000人とサラリーマンの10人に1人が加入している計算。加入事業者数も1万1,000社を突破した(厚労省調べ)。加入者の立場からみると、投資教育の不備など課題は多く、格付け情報センターの調査では過半数が元本割れしているという。
- ◇08年末の「国の借金」846兆円、再び増加～財務省 (2月10日)  
国債、借入金、政府短期証券の合計。1人あたりでは約663万円。08年3月末に過去最高の849兆円に達した後は減少していたが、10月の補正予算で経済対策の財源確保のための国債を増発。
- ◇10-12月期の実質GDP、年率換算で12.7%減～内閣府(2月16日)  
実質で前期比3.3%減と3四半期連続マイナス成長。減少率は第一次石油危機時に続く約35年ぶりの大きさと、日本経済の落ち込みは欧米と比べても突出している。通年でもマイナス成長確実か。
- ◇08年末の米国債保有、中国が初の首位～米財務省 (2月17日)  
中国が前年比45.8%増の6,962億ドルで首位。日本は同0.3%減の5,783億ドルで2位。日中で海外勢全体の約4割を占める。
- ◇09年の米経済、マイナス成長の見通し～FRB (2月18日)  
FRBは実質成長率見通しを▲1.3～▲0.5%に大幅下方修正。失業率は8.5～8.8%まで上昇と予測。
- ◇公的年金の給付水準、2038年度には2割目減り (2月23日)  
厚労省発表。現役世代の収入に対する年金給付水準は、09年の62.3%から2038年度以降50.1%に低下する。政府目標の50%をクリアするも、5年前に比べ低下幅は約15%拡大。出生率1.26、GDP成長率を0.8%とする前提が甘いとの指摘も。
- ◇1月の貿易赤字過去最大、08年度赤字転落も～財務省 (2月25日)  
1月は9,526億円、08年4月～09年1月の累計で7,800億円の赤字。年度を通じて貿易赤字に転落する可能性も。ただし、投資で得る利益も含めた経常収支は黒字基調で経済下支え要因に。

●金利データ

	2009年3月2日現在	前月比
政策金利(無担保コール翌日物)	0.10	→
公定歩合	0.30	→
短期プライムレート(都銀・最頻値)	1.475	→
長期プライムレート(みずほコーポレート銀)	2.25	→

<主要国 政策金利>

米国FFレート(誘導目標値)	0.0~0.25	→
EU/ECB主要政策金利	2.00	→

◆貯蓄

\*年平均利回り

三菱東京UFJ銀行	普通預金		0.040	→	
	貯蓄預金(10万円以上)		0.050	▲0.02	
	スーパー定期預金 (300万円未満)	1ヵ月		0.150	→
		1年		0.250	→
		3年		0.250	→
外貨定期 1年	米ドル		0.360	→	
	2000米ドル相当額以上	ユーロ	0.500	→	
	3万米ドル相当額未満	豪ドル	2.000	+0.51	
ゆうちょ銀行	通常貯金		0.05	→	
	定額貯金	3年以上	0.250	→	

野村証券	MMF(運用実績)		* 0.321	→
	外貨建てMMF (運用実績)	米ドル	* 0.370	→
		ユーロ	* 0.950	→
		豪ドル	* 2.823	↘

国債	個人向け国債(4月)	固定・5年	0.71	▲0.09
	募集期間 3/5~3/31	変動・10年	0.50	▲0.08
		利付国債10年(299回/3月発行)	1.3	→

◆ローン

フラット35は金利に保証料相当分を含む

住宅ローン (三菱東京UFJ銀行)	変動型	2.875	→
	固定・5年	3.400	→
	固定・10年	3.600	→
フラット35	保証型	3.970	+0.28
	買取型	3.330	▲0.04
フラット35(買取型)	21年以上	2.980~3.930	→
	※住宅金融支援機構 発表	最多 3.230	→
20年以下	2.750~3.700	→	
	最多 3.000	→	

預金金利もローン金利も大きな変動はなし。欧州ECBは5日に利下げを行うと見られている。日本は10-12月期のGDPが年率換算で2ケタのマイナス成長となり、対ドル、対ユーロとも円安基調に転換。米国の金融システム不安が収まらず、欧米、日本の株価も再び下落基調で不安定な動きに。

## コラム～★FPのひとりごと★～

### 税制がどのように変わるのか確認しましょう



“未曾有の経済危機の渦中で”政府には早急な対策が求められるのですが、衆参逆転の国会は政治的な駆け引きばかりで、対応が後手々々に回っているようです。私たち国民にとって困るのは制度がどう変わるのかはっきりしないという点です。特に税制は、平成 21 年がスタートしているにもかかわらず、今年の株式や不動産に関する変更がはっきりしない状況です。税金の制度は、今年のガンソリンに対する課税の混乱を見てもわかる通り、ぎりぎりまでどうなるのかははっきりせず、対応のしようがないという事態も起こりえます。

景気の悪化もあり、さまざまな減税処置が提案されていますが、それが国会を通過するかどうか、私がこのコラムを書いている現時点では見通しが立っていません。この文章が皆様のお手元に渡っている時点でははっきりしている可能性もありますが、あえてこの時点で整理をしてみます。

まず、証券税制です。最近のマネー誌、証券会社のサイトなどでも、①平成 20 年の税制について書かれたもの、②平成 21 年の税制として予定されている(既に前年に法改正で決まっている)制度について書かれたもの、③今国会で修正しようと政府与党が法案提出している(平成 20 年までの税制に近い)制度について書かれたもの、が混在しています。

詳細は省きますが、株式の値上がり益や配当は、平成 20 年までは 10%課税だけで済みました①。今年の税制改正で、今年(H21)から値上がり益や配当が一定の額以上となった場合は、確定申告をする必要が生じ、税率も 20%となることになりました②。株式の値上がり益については、年間の損益を通算して 500 万円以上の利益となった場合、配当については年間の合計で 100 万円以上となった場合が該当します。ただ現在、税制改正法案が国会に提出されており、これが通過すれば平成 20 年と同じ 10%で、確定申告もしなくて済みます③。さらに、配当と株式や投資信託の売却損を損益通算することができるようになりました。この点は、今年の税制改正法案が通過しなくても同じです。

次は、投資信託です。基本的な税率は株式と同じです。ただ、昨年までは換金の方法が2種類あり、株式の損益と通算できるかどうかなどの違いがありました。(どちらか一つしか扱っていない金融機関もあります。)今年から、この2つの換金方法の違いがなくなりましたので、選択することはありません。また、投資信託の分配金も株式の配当と同様に、株式や投資信託の売却損と損益通算できます。これも今年の税制改正にかかわらず同じです。今年の税制改正が通過すれば、株式・投資信託の売却益や配当・分配金に対する税率は 10%のまま、売却損と配当・分配金が通算できるようになるということです。(いずれの場合でも、配当・分配金については総合課税も選択できますが、その場合は売却損との通算はできません。)

次は住宅ローン減税です。住宅ローン残高の一定割合の金額分が減税となる、住宅ローン減税が適用されるのは、昨年 12月までに入居したものが対象です。今年に購入・入居する分からは適用はなくなりました。ところが、現在国会に提出されている今年の税制改正が通過すると、今年の購入分も住宅ローン減税が復活し、さらに減税幅が大きくなります。昨年入居分の住宅ローン減税の最大減税幅は 160 万円でしたが、今年は 500 万円となります。(ただし、500 万円はあくまで最大の場合ですので、実際にはもっと少なくなるでしょう。)

最近では予算に対しては野党も強硬姿勢を示さなくなってきましたので、おそらく可決されると思われていますが、現時点(2月 20 日)ではまだ確定していません。政治状況は極めて不透明です。最終的にどのように決まったかは担当の FP にご確認ください。

村井英一

### ●FPコバさんより ～2009年FPA大会～

先日私が理事をしているNPOFP普及協議会の研修で、2009年FPAアメリカ大会に募集をする事をアピールする為に、私がこれまで2回参加した大会の報告会をしました。

最初は2006年、テネシー州ナッシュビル。と言っても空港から会場のコンベンションセンターにバスで「移送」されてから2泊3日、観光も無くひたすらセミナーと夜は交流会でした。ナッシュビルがどんな町か分かりませんが、FPA大会の規模の大きさと初めての大会の雰囲気は酔ったものでした。

次は2008年、ボストン大会。ボストンに着いたのが10月3日。世の中リーマンショックで“ファイナンシャル・クライシス”と大変な時にアメリカに来たと感じました。ボストンでは7泊しましたが、その間今度是有名なハーバード大学と、マサチューセッツ工科大学は1人で地下鉄を乗りついて見て来ました。

さて第3回は、ロス近くのアナハイム。2009年10月9日からです。CFPの皆さん、是非参加して見ましょう。